

# 2017年もトンボを追いかけてました！ 本調査&トンボとり大作戦



国土交通省横浜技調



麒麟ビール横浜工場



東芝エネルギーシステムズ

## 本調査

8月初旬に市民・専門家・企業・行政が企業緑地・公園などで協働で実施している調査です。臨海部10地点、内陸部6地点に加えて昨年から南部の本牧市民公園も加わりました。捕虫網で捕まえたトンボの翅にマーキングをして放し、再捕獲することで地域の自然環境がわかります。

フォーラム名にもなっている「トンボはドコまで飛ぶか？」が確認されたトンボの移動記録は15年間で13回でした。

本牧市民公園



東横フラワー緑道



貨物線の森

トンボ調査に興味がある方は、裏表紙に記載されているフォーラムの参加市民活動団体を通して参加できます。関心のある方はフォーラムにお声をかけてください。

## トンボとり大作戦

子どもたちにトンボの生態や地域の環境を知ってもらうため、夏のイベントとして始まった「トンボとり大作戦」。現在ではより多くの機会を提供しようと6月から10月までの毎月実施しています。調査地点も入船公園、JFE トンボみち、麒麟ビール横浜工場、本牧市民公園、富岡総合公園、長浜公園の6地点となりました。

さらに今年はスタンプカードも作り、多くの地点を巡ったり、繰り返し調査に通ったりする楽しみも増えました。また、9月には「トンボとり大作戦秋のスペシャル」も行いました。今回初めて神奈川区周辺での開催を検討し、岸根公園での実施を予定していましたが雨天で中止となりました。好天に恵まれた三ツ池公園では70人を超える子どもたちの参加がありました。

長浜公園



富岡総合公園



三ツ池公園



二ツ池



高田池



SMSばいくショップ

## トンボが増えた！ 学生部会新設のトンボ池 (マツダ)

学生部会では、昨年度に引き続き日本大学と東京都市大学の4年生が中心となり、マツダ(株)マツダR&Dセンター横浜でのトンボ調査を実施しました。

前年度の調査方法を見直し、まず4月に仮設ビオトープをトンボがより飛来しそうな場所へと移動しました。そこは施設玄関脇の落葉樹のある場所。中庭にある既存の大きなビオトープとは建物で隔てられていますが、トンボがどのように飛来するのか、環境による違いがあるのかなど調査のポイントとなりました。

その後、5月～9月にかけて毎月調査を実施。その結果、通過だけするもの、低空でビオトープに侵入するもの、長い時間とどまって休息したりエサをとったりするものなど、様々な行動が見られました。調査の結果は、トンボがより多く飛来し、とどまる環境について考察する材料にする予定です。



## ハロウィンパーティー & 報告会 2017/11/5 麒麟ビール横浜工場にて

今年の報告会は初めての試みで、ハロウィンパーティースタイルにしてみました。トンボとり大作戦に参加した子どもたちも集まって楽しい会になりました。

- ・トンボとり大作戦の報告
  - ・田口正男先生の「ミニじゅぎょう トンボはどんな生き物か？」
  - ・トンボのはね工作 ・クイズ大会
  - ・トンボとり大作戦のスタンプカードの表彰式
- などなど、たっぷりの内容。

田口先生のお話は子どもには少し難しいかなと思うところもありましたが、そのあとのクイズに出るので熱心に聞いていました。

クイズはフォーラムの学生部会に参加している学生たちが作ったもの。子どもの中にもトンボ博士がいて、たくさん正解していました。

景品をもらって子どもたちも大喜び。帰りにビオトープ池の周辺でトンボとりを行い報告会は終わりました。

飲み物や場所のご提供など麒麟ビール(株)横浜工場さんには大変お世話になりました。



JFEエンジニアリング JFE トンボみち



JVCケンウッド



マツダR&Dセンター横浜



入船公園



サイエンスフロンティア高校



北部第二水再生センター

